

条件反射制御法実地研修内容（プログラム）

2018年1月19日改訂

	時間	実施内容
1日目	13:00	<p>オリエンテーション（病棟）</p> <p>職員紹介、病棟案内、電子カルテ及び鍵の取扱</p> <p>研修生に対する筆記テスト実施（初級）</p> <p>CRCTの展開票と観察票、作業回数算定に関する説明</p> <p>疑似物質、パチンコ台、マネキン、商品箱、病棟内の見学</p> <p>反応の報告方法、誤投薬防止の方策、宣言療法についての説明</p> <p>S1、S2、S3の見学（S1～S3については内容を後記する）</p>
2日目	8:30 10:00	<p>病棟カンファレンス参加、反応変化の報告</p> <p>L1、L2、L3の見学（L1～L3については内容を後記する）</p> <p>指導下で患者に対してS1、S2、S3の指導内容の実技</p> <p>研修生が職員を対象にしてL2、L3の練習</p> <p>尿検査の扱い、麻薬取締官との面接に関する説明</p>
3日目	8:30 13:00 (宿題)	<p>外来診療での維持ステージにおける働きかけの見学</p> <p>尿検査および取締官による第二信号系への対応</p> <p>指導下で患者に対してS1、S2、S3、L2、L3の実技</p> <p>研修生に対する筆記テスト実施（中級）</p>
4日目	8:30 10:00～	<p>病棟カンファレンス参加、反応変化の報告、筆記テストの提出</p> <p>指導下でのS1、S2、S3、L2、L3の実技</p>
5日目	8:30 10:00 12:00	<p>病棟カンファレンス参加、反応変化の報告</p> <p>研修生に対する実技テスト</p> <p>修了証書授与</p>

※1日目から4日目は15:00頃休憩、17:15終了

※当日の進行状況等で、プログラム内容が変更されることがございます。

SおよびLの内容

S1：看護師が患者に説明書の提供とテストの予告を行う。

1. 各治療作業（基礎知識の修得、制御刺激、疑似、想像、維持、描写文、屯用疑似物質）を実施するために必要な知識を記した資料を患者に渡す。
2. テストを予告する。

S2：看護師が患者に対するテスト、採点、指導、記録を反復する。

1. 予告したテストを患者に対して行う。
2. 採点を行う。患者の目の前で行う。下の指導も同時に行う。
3. 誤りについて患者に質問し、正解を導き出すよう、指導する。
4. 電子カルテに点数を記録する。
5. 上記を、必要に応じて反復する。

S3：看護師が作業回数票、観察票、動作の確認を行う。

1. 毎日の担当看護師が作業回数票を確認し、記録する。
2. プライマリナースが制御刺激動作を再現させ、円滑かどうかをみる。
3. プライマリナースが観察票を確認する。必要に応じて、指導する。

L1：CRCT 担当者（医師または研究補助員）が CRCT を計画し、看護師に対して指示を出す。

1. 患者の問題行動、退院日を確認し、CRCT の計画を立て、CRCT 展開票に記入する。
2. 各作業ステージが進むように看護師等による説明・テストなどの指示方法を指示する。

L2：CRCT 担当者が各ステージの当初に作業を患者に指導する。

1. 患者に対して、各作業と記録法を反復して指導する。
2. 疑似、想像、描写文では反応（対促進刺激、対中断、対制御刺激）を把握する。
3. 看護師にステージの進行を告げ、観察を指示する。

L3：CRCT 担当者が各ステージで作業反復後の反応を把握する。

1. 制御刺激設定ステージでは後半に、動作時の反応を把握する。
2. 疑似、想像、描写文では反応（対促進刺激、対中断、対制御刺激）を把握する。
3. 次のステージへの移行を患者と職員に伝える。